



【印刷可】ヴィンテージ国産時計・購入前 チェックリスト決定版

ステップ1: 真贋の確認 - 本物を見極める7つのポイント

最も重要で、そして最も難しいのが真贋のチェックです。以下のポイントを、既知の正規品の情報と照らし合わせながら慎重に確認しましょう。

- ☐ ダイアル(文字盤): ブランドロゴやモデル名のフォントは、同年代の正規品と比較して正しいか? にじみやズレはないか?
- ☐ 針: 時・分・秒針の形状、長さ、仕上げはオリジナルと同じか? (安易な交換針が使われていないか)
- ☐ ケース: シェイプやエッジの仕上げはシャープか? (過度な研磨でケースが「痩せて」いないか)
- ☐ 裏蓋: モデル番号やシリアル番号の刻印は鮮明か? 書体は正規品と一致するか?
- ☐ リューズ: ブランドロゴは正しいか? オリジナルの形状か? (消耗しやすいため交換されがちな部品)
- ☐ ムーブメント: 裏蓋を開けて確認可能なら、キャリバー番号の刻印がケースと整合性が取れているかチェック。
- ☐ 販売者: 個人売買の場合、出品者の評価や過去の取引履歴は信頼できるか?

ステップ2: コンディションの確認 - 時計の状態を細部までチェック

時計の価値と今後のメンテナンス費用に直結する、コンディションを見極めます。

- ☐ ダイヤルの状態:シミ、腐食、塗料のひび割れはないか？ 夜光塗料の焼けや剥がれはどの程度か？
- ☐ 風防(ガラス):深い傷や欠け、内部に曇りはないか？ プラスチック風防かサファイアガラスか？
- ☐ ケース・ブレスレット:大きな打痕や深い傷はないか？ ヘアラインや鏡面の仕上げは綺麗に残っているか？
- ☐ ブレスレットの状態:ヨレや伸びは許容範囲か？ コマ数は十分か？ バックルは正常に機能するか？

ステップ3:動作の確認 - 時計の心臓部は正常か？

見た目だけでなく、時計としての基本性能が保たれているかを確認します。

- ☐ リューズ操作:時刻合わせ、日付・曜日変更(搭載モデルの場合)はスムーズに行えるか？
- ☐ ぜんまいの巻き上げ:手巻き・自動巻きともに、巻き上げ時に異音や違和感(重すぎる、軽すぎるなど)はないか？
- ☐ 針の動き:秒針の動きは安定しているか？ 時・分針に遅れや進みはないか？
- ☐ クロノグラフ機能:スタート、ストップ、リセットの各プッシャーは正常に作動するか？(搭載モデルの場合)

ステップ4:付属品の確認 - オリジナリティと価値を高める要素

付属品の有無は、時計の価値と来歴の正しさを示す重要な指標です。

- ☐ 箱(ボックス):オリジナルの箱は付属するか？ 時計の年代と箱のデザインは一致しているか？
- ☐ 保証書(ギャランティ):保証書は付属するか？ シリアル番号や販売店のスタンプ、日付の記載は正しいか？
- ☐ 取扱説明書・タグ:当時の取扱説明書やプライスタグなどが残っているか？
- ☐ 修理・OH履歴:前回のオーバーホール(分解掃除)がいつ行われたか、記録は残っているか？

最終確認:購入を決める前に

すべてのチェックを終えたら、最後に以下の3点を確認して、冷静に判断を下しましょう。

- ☐ 質問と回答:チェックリストで気になった点を販売者に質問し、納得できる回答が得られたか？
- ☐ 価格の妥当性:時計の状態や付属品を総合的に判断し、価格は相場と比べて妥当か？
- ☐ 返品ポリシー:万が一、購入後に重大な欠陥が見つかった場合の返品や保証の条件は確認したか？

免責事項

- このチェックリストは、ヴィンテージ時計の購入におけるリスクを軽減するための参考情報を提供するものであり、その内容の完全性や正確性を保証するものではありません。
- 本リストの項目をすべて満たしていても、時計の完全な真贋や将来にわたる正常な動作を保証するものではありません。
- 最終的な購入の判断は、ご自身の責任において慎重に行ってください。